

ひびばい 市議会だより

平成31年2月1日

46号

発行 美 唄 市 議 会
編集 市議会広報委員会



議会報告会（東明生活館）

平成30年第4回定例会は12月4日に開会しました。本会議では例月出納検査結果報告、美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告がありました。

議案については、条例改正案件3件、指定管理者の指定の件6件、補正予算案1件、人事案件4件が上程されました。なお、補正予算案件はのちに2件の追加がありました。

7・10日には一般質問が行われ9人の議員が市長・教育長にそれぞれ質問をしました。

11日には常任委員会が開かれ、総務・文教委員会は条例改正案3件と指定管理者の指定について2件、産業・厚生委員会では指定管理者の指定について3件が審議されました。総務文教委員会では、一部の議案が継続審査となり、翌日12日に再度委員が集まり審議を行いました。

◆◆ 主な内容 ◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会の報告
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

12日には予算審査特別委員会が開かれ、補正予算3件について審議し、可決しました。

13日には地域医療体制等調査特別委員会が開かれ、市立美唄病院の建替え等について、市民委員会からの提言を受け調査と、市長から実施設計を改めて進めていく旨の報告を受けました。

最終日14日には本会議が開かれ、市長から市立美唄病院建替えについての市政報告が行われ、意見書4件含むすべての議案が可決されました。

第4回定例会（12月4日～12月14日）終わる

☆ 平成30年度補正予算 5957万1千円可決

☆ 病院建替え、実施設計に改めて進むとの市政報告

一般質問

今定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。質問・答弁は本人が要約したものを掲載しています。

日本共産党議員団
吉岡 建二郎 議員



を行った。

問 今回の災害を受けての今後の課題について。

答 広報車による情報伝達の際に聞き取りやすいようにスピードカーの音量や車のスピードの改善、要配慮者の状況把握のための体制づくり、携帯電話の充電コーナーの設置、通電火災への対策についての周知等が必要であると考えている。

問 地震の際に発生した全道的なブラックアウトを市はどのようにとらえているか。また北海道電力の電力供給体制に甘さがあったと考えるが、その責任についての考え方を伺う。

答 ブラックアウトは市民生活に甚大な影響を与えた。市として、9月20日に北海道電力に対して、迅速な情報発信や市との連携について申し入れをした。今後はより一層の連携強化を図っていく。ブラッ

クアウトの責任については、現在電力広域的運営推進機関が検証中であることから、北海道電力の責任について申し上げることは差し控える。
《その他の質問事項》
○3月の南一の沢川で発生した災害について、防災的観点からの排雪対策について
○市内公共交通について

みずほ議員会
桜井 龍雄 議員



もあり、排水路の役割は益々重要になっておりますので、事業化に向けて国や道とも協議を行ってまいります。

問 農道の整備について、整備後20年から30年前後が経過しており、舗装の亀裂やや段差及び橋梁や付帯施設の老朽化など数多く生じて、農村地域住人にとって営農に直結して早急実施すべく重要課題となっております。本市単独では無理なので道との協議の中で有利な補助事業があれば是非と取り組んでいただきたいと思っております。このことについてお伺いいたします。

答 農道の維持管理を農道維持管理事業で実施しておりませんが、大規模な道路整備は、財源が必要となるため市単独での対応は難しい状況になっています。これまでも道などの事業での対応ができないかを、空知総合振興局の担当部署と交え、補助事業採択について勉強会を開催するなど、更に情報交換を行い継続して検討していきたいと考えております。

問 最近の異常気象により集中豪雨で畑の冠水が確認されており、市内各地より農業排水路の整備の要望があります。このことについてお伺いいたします。

答 近年、大雨や台風の上陸

も、安心して希望を持って暮らし本当に住んで良かったと思えるまちづくりのため、更なる地域経済の活性化を図るために、真剣に出馬を考えるべきと思いますが、後援会等々と出馬に向けての協議をされたのか、また協議の結果はどうなったのか経過を含めてお伺いいたします。

答 後援会の方々からは、私が出た公約や様々な施策の達成状況を総括し、総合的な判断のもと立起に関して、励ましのお言葉をいただいたところであります。私としては、本市が抱えている様々な課題の解決に向けて、来年の7月の任期満了に伴う市長選に立起することを決意したところであります。

市 議 会 だ よ り

(3)

公正クラブ

川上 美樹 議員



問 2020年から制度が変わり各自治体の考えで臨時職員などの非正規公務員の処遇改善が可能となる。非正規でも正職員に近い業務を担う人も多く、業務内容に応じて各種手当等の支給を検討すべき。

答 法改正の趣旨を踏まえ嘱託職員、臨時職員の給与、職務等の規定に違いがあり様々な課題がある。新たな制度へどのように移行していくことが良いのか、他市の状況を含め十分に検討していきたい。

問 子育て支援として家庭力を高める動きが国であり国庫補助も考えられている。それ

には保育士をはじめ、専門職が必要とされている。本市では保育士が不足している。働く保護者も増え、特に0歳児一歳児の待機が発生しないか、保育士の確保を。

答 国庫補助を財源として、保育士や社会福祉に関する専門職の確保について検討するとともに、これまでの関係機関との連携を強化し、地域資源も活用しながら、支援のネットワークを広げる取り組みを進めいく。

問 学力テストの結果が全国平均を大きく下回った。スマホ等のSNS使用時間が本市の児童生徒は多い。家庭との連携を強化し対策を。

答 家庭内での使用ルールを促し啓発を強化する。
《その他の質問事項》
○今年には退職職員の再任用が多く経験と知識を活かしつつも、新規の採用者も考え職員を育てて欲しい。

無党派

本郷 幸治 議員



問 「美唄市のし尿処理に係る車両登録について」本市のし尿処理に係わる委託業者の使用している車両については営業ナンバーで登録しているが、家用ナンバーを使用しても何ら法的に違法ではないと思うが、この点についてお伺いします。

答 環境省の一般廃棄物収集運搬業者に係る営業ナンバーの取扱については、市町村が収集おきましては、市町村が収集運搬業者に一般廃棄物の収集運搬を委託する際は、家用ナンバー、営業用ナンバーを確認のする必要はないとの回答があることから、家用ナ

ンバーでも差支えないと考えています。

問 「学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全確保の推進について」

①「学校防災マニュアル」に基づき通学路の実態について
②安全性の問題のある通学路に対する対応について

答 ①市内小中学校の通学路に面するブロック塀等について、塀の高さ、塀の厚さ、控壁やコンクリート基礎の有無、ひび割れや傾き等の点検項目に従い目視による安全点検を行ったところ、今後、大規模な地震等が発生した場合、倒壊の懸念があると思われる箇所が9カ所あったところです。小学校区別では茶志内小学校区では1カ所、峰延小学校区では2カ所、東小学校区では4カ所確認しました。

②確認された箇所今後の対応は、通学路は市道でもあることから、今後、市長部局と連携し、対応策について協議して参ります。尚、学校施設における安全性に問題のあるブロック塀等を有する学校は無かったところです。

みずほ議員会

楠 徹也 議員



問 農業行政について、本年の主要作物の作柄状況及び農業被害の対応について

答 水稲については、収量は平年作を下回り、タンパク値が高く一等米の割合も平年を下回った。小麦は秋小麦・春小麦とも収量が落ち込んだほか、一等麦の割合も下がり規格外の製品が多く発生した。大豆及び玉ねぎもまだ調整中だが平年収量を下回り、大豆は粒が小さく、玉ねぎも小玉の割合が高い。さらにアスパラも平年収量より大幅に落ち込んだ結果となった。台風21号による農業被害については

市議会だより

10月に実施した被災農業者向け経営体育成支援事業の要望調査では、申請件数60件対象施設内訳は、栽培用ハウス94棟、農機具格納庫50棟農業用施設5棟などで、国へ提出した助成要望額は約8600万円となった。災害対策支援については、農家負担軽減のため、営農資金対策の利子助成を農協と連携し、農業経営の継続と安定化を図る。

問 都市整備一般行政、屋外広告物について、本市における許可件数と管理者の点検義務及び点検内容、市としての指導、啓発状況について

答 現在、許可している屋外広告物は、固定広告物が71件、電柱広告物が2件合わせて73件となっており、「北海道屋外広告物条例」において良好な状態を保持することを義務づけていて、「北海道屋外広告物管理指針」において必要な点検項目や対応策が示されている。市としては、パンフレットなどPRしている。

《その他の質問事項》
○市民会館補助金の不正受給の経過について
○指定管理者候補の選定手続きに係る新聞報道について

公正クラブ

松山 教宗 議員



問 中心市街地活性化のため商店街組織と市民団体、行政等の連携が必要不可欠。地域おこし協力隊を増員し商店街の活性化プランを実行しては。

答 本年度、商店街組織が作成した活性化プランは賑わい創出事業の展開が急務とされる一方で人材不足による計画の実現性も危惧されることから地域おこし協力隊制度の有効活用や増員も検討する。商工会議所や商店街組織等と連携を図り必要な支援をする。
問 これまで数回「公共合同墓」設置の質問をしてきた。市民要望が多く道内各市でも

設置が多く進められている。本市の早急な設置を求める。
答 先進地視察の状況を踏まえ来年度中に具体的な場所や規模を決定し、関係部局に対し合葬墓のイメージ図を依頼するなど、なるべく早い時期の建設に努めていく。

問 総合体直館のトイレ洋式・多目的化やシャワー室の改修等、再三質問をしてきた。利用者はもちろんのこと本市最大の災害避難所として高齢者や足腰の弱い方、障がいのある方の利用が想定されるので早急な改修をすべきでは。

答 NPO法人美唄市体育協会から11月に提出された「要望書」に「避難所としての機能強化・充実」について追加されました。これまでの答弁では床下の配管の接続等が可能か。また様々な課題を調査するとしてきましたが可能であると判明。トイレはスポーツ利用者の他、避難される様々な市民の受入れ対応ができるようトイレの様式化、多目的トイレの設置、そして、シャワー室は当水面温調整ができる器具へ交換等に対応する予算の確保に努める。

問 学校避難所の冬季間災害対策として簡易ダンボールベッなど寒冷地対応の備えは。

答 毛布やポータブルストーブ、備蓄品として非常食、発電機、投光機はある。ダンボールの簡易ベッドは暖かく、騒音も和らげ椅子替りにもなり、荷物の収納や仮設住宅に引越す時の引越し箱になるなどメリットがあるので今後市長部局と十分に協議して行く。

日本共産党議員団

吉岡 文子 議員



問 年代別の職員数、嘱託職員と臨時職員、新規採用職員について。

答 新規採用は事務職若干名保育士3名、消防職1名を採

用候補名簿に登録済み。事務職については採用予定者に満たないことから2次募集中。

年代別職員数			嘱託職員	
年代	人		年代	人
10代	4	1.0%	1年未満	15
20代	70	17.2%	1~5	49
30代	61	15.0%	5~10	37
40代	126	31.0%	10~15	12
50代	136	33.4%	15~20	5
60代	10	2.5%	20年以上	15
合計	407	100.0%	合計	133
定数	465		臨時職員	189

問 これといった大きな企業のない美唄市では市役所が一番の雇用の場となる。過去の採用で職員数には大いに偏りがあると思われる。

答 年齢構成に偏りがある原因としては社会情勢や市の財政状況などから新規採用の抑制や凍結をしたことなどが考えられ、全体的な組織力などに影響があるものと分析している。平成29年4月現在の全道各市の一般行政職の平均年齢では35市中30市が40歳を上回っている状況から各市とも年齢構成に偏りがあると考えられている。嘱託職員について、任用にあたっては業務の特殊性から専門的知識などを有する人材が必要な場合などに任

市議会だより

(5)

用しており、長期間継続して勤務している職員が多いくところ。その長年の知識・経験は組織の中において重要であると考えていることから、採用年齢枠の見直しなどについて検討してまいりたいと考えている。

《その他の質問事項》

- 合葬墓建設について
- 学校トイレ洋式化について
- 指定管理となった美唄市立図書館について

無会派

森川 明 議員



問 スマート農業について、北海道をモデル地域とし、農水省も実用化の進展を探っており、道、岩見沢市、更別村

で協議会が設立されている。市の動向、取り組みを進めている農家、市農業振興基金等免許取得の可能性を伺う。

答 いわみざわ農協が事務局を担い、協議会には本市からは参画していない。大富地区のいわみざわ農協組合員は参加していると伺っている。振興基金は、ヘリコプター、ローンの免許支援を行った。

問 美唄市男女共同参画について、市は第3次計画を2027年迄策定されているが、市DV相談数、女性登用推進状況、審議会等の登用率、推進協議会に対し事業費増額を検討すべきである。

答 DV相談数は29年度ゼロであった。女性管理職の割合は、全国13・5%、全道11・7%、本市は11・9%で、全道より高く、審議会等は全国26・2%、全道は22・4%、本市は18・8%で、今後とも目標30%に向けての努力を協議会と連携協力し、事業者の確保にも務めてまいりたい。

思われる。
答 市はアクションプランを作成してきた。概ね目標を達成された。英語、道徳の教科化は不安が少なからずあると考えている。志願者減は民間の好調を、生徒指導の難しさがあると推測される。

《その他の質問事項》

- 炭鉄港の取り組みについて
- 地震によるブラックアウト時の教員の出勤について
- 重いカバン対策について

公正クラブ

山崎 一広 議員



問 定住移住対策について
①今後の制度拡充について
②不要の宅地を農地として圃場整備を想定し進めてはどう

か
③人口減少が著しいが、具体的施策の在り方について

答 ①新たな研究の取組と既存制度のブラッシュアップを図り、効果的に取り組む。
②引き続き地区編入し、農地として有効活用の計画を行う。
③市内の横断的な連携を図り、市民と協働しながら取組むことが重要である。

問 離農地の活用について
① 離農地の宅地化について
② 離農地の跡の宅地を農用地として、転用してはどうか

答 ①耕作されない農地が引き続き事は悪影響を及ぼす影響が有り、当該農地の周辺状況を勘案し、関係機関と連携し解消していきたい。
②それぞれ個人の財産で有り所有者の判断と考える。

問 水道事業の民営化について
① 民間委託はどの様に考えているのか
② いつ頃を目標に考えているのか

答 ①現在の受付業務、開閉栓業務、収納及び未収金改修業務等を考えている。
②委託事業を行っている他市

の実施状況を参考にしていきたい。
③将来の料金負担に影響とならないよう、消費の削減効果を検証し慎重に検討している。

委員会の報告

常任委員会と特別委員会での質疑応答と議論の主な内容
《総務・文教委員会》

64号 美唄市給与条例の一部改正の件
問 人事院勧告に基づいて、給与を上げていくということだが、総額でどれぐらいになるのか、また、美唄市のラスパイレズ指数は。

答 全会計で779万4000円の影響額となる。
また、ラスパイレズ指数の状況については、平成29年の数値で96・4となっており、道内28番目となっている。

54号 美唄市放課後児童施設条例の一部改正の件
問 茶志内小学校区、峰延小学校区の放課後児童施設については、中央小学校区へ移行することだが、指導員、職員の移行プロセスはどのようにしているのか。

答 職員配置については、利

用者40名に対し、2名以上配置することになっており、中央小学校区では120名の利用により増員が必要となるが、茶志内小学校区の施設は閉園し、減員となることから、その人員を中央小学校区に充てるなど、各施設の配置を見ながら、人員配置について見当していく。

55号 指定管理者の指定の件
(美唄市民会館、美唄市立公民館、美唄市立公民館桜井邸分館、美唄市立公民館桜井邸分館)



美唄市立公民館桜井邸分館

問 他の自治体では、指定管理者の選定結果については、

決定されなかったところも含め、すべて明らかにされていくことから、本市においても公表すべきではないか。
答 本市においては、一定の基準で公表させていただいてはいるが、選定基準については十分検討する必要があると考えており、今後、選定委員会等において、検討してまいりたい。

65・56号 質疑なし
64・65・54・56号 原案可決
55号 採決の結果原案可決
《産業・厚生委員会》



一般廃棄物ストックヤード

57号 指定管理者の指定の件
(美唄市一般廃棄物最終処分場、美唄市生ごみ堆肥化施設)

美唄市一般廃棄物ストックヤード)
問 一般廃棄物最終処分場他2施設については、評価平均点が80・80点で指定管理者が選定されているが、どのように配点されているのか。
答 全7項目ある選定基準について、10人いる選定委員がそれぞれ点数をつけ、その合計の平均値を項目ごとに算出している。

59号 指定管理者の指定の件
(美唄市南美唄福祉会館)



南美唄福祉会館

問 南美唄福祉会館については、冬場の除雪費用などを含め、運営が厳しいとの声をかねてから聞いているが、現状

について。
答 これまで福祉会館の運営は運営委員会が単独で行っていたが、南美唄連合町内会の傘下に入ったことにより、赤字等が生じた際のバックアップ体制の確立や、地域の方の利用拡大が期待されるほか、除雪についても運営委員会が行い、排雪のみ業者に依頼するなど、経費削減に取り組んでいるが、市も運営状況に応じて協力していきたい。

60号 指定管理者の指定の件
(美唄市パークゴルフ場、美唄市体験交流施設)



美唄市パークゴルフ場

問 パークゴルフ場の市内・外のそれぞれの利用者数と、水捌けの悪いコースの改修の考え方について。
答 利用者数は、平成30年10月末現在で、市内が6222人、市外が4531人の合計1万753人となっている。コースの改修については、現在、水捌けが悪い桜コースの一部の利用を制限していることから、新年度に向け、改修に取り組んでいく。

58号 質疑なし
57・60号 原案可決
※両委員会の総意として、「指定管理者の指定の件」については、審査にあたり十分な資料がないことから、今後透明性を高めるためにも、可能な限り公表に努めるよう市長に要望した。

《予算審査特別委員会》
委員長 金子義彦(みずほ議員会)
副委員長 山崎一広(公正クラブ)
61号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(6号)
問 「障がい児居宅生活支援費給付事業」について、2017年度より、各事業所の支

表1 補正予算 (千円)	
承認8号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第4号)	
補正総額	9,947(千円)
歳入 一般財源	9,947
歳出 土木費 除排雪事業	9,947

表2 補正予算 (千円)	
53号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第5号)	
補正総額	45,649(千円)
歳入 国庫支出金	26,666
地方債	11,200
一般財源	6,783
その他	1,000
歳出 商工費 地域経済循環創造事業	40,000
教育費 公民館・市民会館管理運営事業	5,649
【繰越明許費】	
地域経済循環創造事業	40,000
【地方債補正】 変更	
	補正前 補正後
交流施設整備債	26,300 32,900

援内容の質の担保のため、配置人員に対する基準が厳しくなったが、本市にある4事業所の状況について。

答 国では、児童発達支援管理責任者の資格要件を、保育所など子どもにかかわる実務経験が3年以上あること、また、実際に指導にあたる指導

員については、保育士、児童指導員、障がい福祉サービスに2年以上従事したことがある者などとしており、本市においては、訪問や電話連絡等で、いずれの事業所も国の示す基準を満たしていることを確認している。

問 「畑作生産振興事業」に

ついて、なたねは今後も安定的な生産が見込めるのか。

答 美唄市農業協同組合では、水田活用による畑作の基幹となる小麦、大豆品質の収量安定を図るため、なたねを取り入れた輪作体系の確立を推進しており、輪作体系を10年1サイクルとした期間でつくっているため、今後も安定した生産を続けられるものと考えている。



なたね畑

問 「農業経営資金利子助成事業」について、対象となった作物の減収額はどのようになっているのか。

答 水稲が4億9344万7千円、小麦が4億3169万

- 5千円、大豆が3億5223万9千円、なたねが1625万1千円、園芸作物、たまねぎ、花き、アスパラ、ハスカップなどが9389万1千円となっている。
- 61号 原案可決
- 第2回臨時会での審査議案
- 承認第8号 専決処分承認を求める件(平成30年度美唄市一般会計補正予算(4号)(表1)
- 第53号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(5号)(表2)
- 第4回定例会での審査議案(簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。)
- 報告第23〜26号 例月出納検査結果報告
- 報告第27号 美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告
- 第64・54・55号 総務・文教委員会
- 第65号 美唄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例並びに美唄市特別職の職員給与に関する条例の一部改正の件

お知らせ

本会議、委員会は、どなたでも傍聴できます。平成31年第1回定例会は、3月上旬の予定です。日程など詳しくは議会事務局(電話63-0141)にお問い合わせ下さい。

- 第56号 指定管理者の指定の件(美唄市宮陸上競技場、美唄市宮野球場、サン・スポーツランド美唄)
- 第57・59・60号 産業・厚生委員会
- 第58号 指定管理者の指定の件(美唄市リサイクルセンター)
- 第61号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(6号)(表3)
- 第66号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(7号)(表3)
- 第67号 平成30年度美唄市病院事業会計補正予算(1号)(表3)
- 第66・67号は14日、本会議にて審議され、質疑なし原案可決
- 諮問第1号 人権擁護委員候補者推薦の件

表3 補正予算		(千円)	
61号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第6号)			
補正総額		59,571(千円)	
歳入	国庫支出金	5,684	
	道支出金	51,042	
	一般財源	2,845	
歳出	民生費	障がい児居宅生活支援費給付事業	11,371
	農林費	水稲生産振興事業	22,000
		畑作生産振興事業	22,500
		経営所得安定対策等推進事業	3,700
【債務負担行為補正】 追加 期間 限度額			
南美唄福祉会館指定管理事業		H31～H33	年度ごとの協定で定める額
交流拠点施設指定管理事業		H31～H33	年度ごとの協定で定める額
リサイクルセンター指定管理業務		H31～H33	年度ごとの協定で定める額
最終処分場・生ごみ堆肥化施設等指定管理業務		H31～H33	年度ごとの協定で定める額
公民館・市民会館指定管理業務		H31～H33	年度ごとの協定で定める額
体育施設指定管理業務		H31～H33	年度ごとの協定で定める額
農業経営資金利子助成金		H31～H35	4,553
66号 平成30年度美唄市一般会計補正予算(第7号)			
【継続費補正】 変更 総額 H29 H30 H31			
衛生費 医療等拠点づくり推進事業		補正前 757 325 432	
		補正後 1,082 325 113 664	
67号 平成30年度美唄市病院事業会計補正予算(第1号)			
【継続費補正】 変更 総額 H29 H30 H31			
資本的支出 改築事業(実施設計)		補正前 77,386 33,359 44,477	
		補正後 111,195 33,359 11,560 66,276	
〈変更理由〉 平成29年度当初予算に継続費として計上している両事業について、平成30年度中に事業が完了しないことから、年限を延長するとともに、総額及び年割額の変更を行うもの。事業自体にかかる費用は実際には増額されていない。			

諮問第2号 人権擁護委員候
 補者推薦の件
 意見書第5号 日米物品貿易
 協定交渉に関する意見書
 意見書第6号 道路の整備に
 関する意見書
 意見書第7号 臓器移植医療
 の普及のための取り組みの充
 実強化を求める意見書
 意見書第8号 国保の抜本的
 改革を求める意見書

市議会の動き

- 11月
 - 5日 議会運営委員会
 - 9日 第2回臨時会
 - 9日 予算審査特別委員会
 - 22・30日 議会運営委員会
- 12月
 - 3日 地域医療体制等調査特別委員会
 - 4日 第4回定例会開会
 - 7日 一般質問
 - 10日 議会運営委員会
 - 10日 一般質問
 - 11日 総務文教委員会
 - 11日 産業厚生委員会
 - 12日 予算審査特別委員会
 - 13日 総務文教委員会
 - 13日 地域医療体制等調査特別委員会
 - 14日 議会運営委員会
 - 14日 第4回定例会閉会
 - 25日 広報委員会
 - 25日 広報委員会
- 1月
 - 7・9・11日 広報委員会

編集後記

第4回定例会は、12月4日から始まり9名の一般質問のうち、各委員会を行い12月14日に終了しました。
 今回の「議会だより」では、昨年10月に行われた「議会報告会」で、各会場に多くの市民方々にご参加を頂き、各会場から寄せられたご意見・ご要望を掲載された別冊をお届けします。
 多くのご意見・ご要望をお寄せくださいまして有難うございます。
 最後にありますが、昨年12月26日に森川 明市議会議員(78歳)が、ご逝去されましたことをご報告いたします。
 議会、議員一同、お悔やみ申し上げます。(と)

- 広報委員会
 委員長 谷村知重
 副委員長 松山教宗
 委員 楠山徹也
 委員 吉岡建二郎